

統合型ソフトを利用した生産費把握システム『コストくん』

(農試 経営部)

1 背景とねらい

近年、農産物の過剰による生産物価格の低迷や米の自由化要求など国内外の諸情勢は急激に変化し、稲作を中心として低コスト化が問題となっている。このため、今後一層、経営の効率化による経営コスト低減を図り、経営の安全性を確保しなければならない。しかし、そのコスト（生産費）把握のためには、償却費や資本利子など繁雑な計算が必要であり、簡易に生産費を集計・分析できる手法が求められている。

このことから、統合型ソフトを利用して、繁雑な計算過程を簡略にし、生産費を迅速に計算するシステムを作成したので、普及奨励事項に供する。

2 技術の内容

「コストくん」は、栽培面積、生産量、使用資材名、使用数量、資材単価等を入力するだけで、10a当り生産費・生産単位（60kgあるいは100kg）当り生産費を自動的に計算するシステムである。また、月別労働時間の集計も可能である。

(1) システムの特徴

ア キー操作を簡略化し、統合型ソフトに慣れていない人でも利用可能である。

イ 処理を自動化し、効率的に入力・出力できる。

ウ 任意の基準数値を入力することにより、その数値との標準比較ができる。

エ 費用合計に対する費目構成比・費目順位・費目構成比円グラフが表示・印刷される。

(2) 入力ファイルの種類

[費用集計ファイル]

果樹費用 果樹、アスパラガス、ホップ等の生産費計算（成園費のある作目）

水稻費用 水稻、麦類、豆類等の生産費計算（園芸施設費のない作目）

野菜費用 野菜、たばこ等の生産費計算

[労働時間集計ファイル]

労働時間 労働時間の集計

(3) システムの構成（図参照）

3 指導上の留意事項

(1) 本システムは、市販の統合型ソフトを用いて作成した。利用する場合は、別途、MS-DOSと統合型ソフトを購入すること（提供できるのは、入力ファイルが保存されているフロッピーディスクだけである）。

・使用機器 コンピュータ本体(NEC PC-9801シリーズ)、ディスプレイ、プリンタ

・使用ソフト Lotus 1-2-3 R2.1J

- (2) このシステムで生産費が計算できる作目は、穀類（水稻、麦類、豆类）、野菜、果樹、工芸作物（たばこ、ホップ等）であり、畜産物の生産費計算はできない。
- (3) このシステムのプロダクションコスト計算は農林水産省統計情報部が実施している方法であり、全国農業協同組合中央会、全国農業会議所の生産費調査には対応していない。

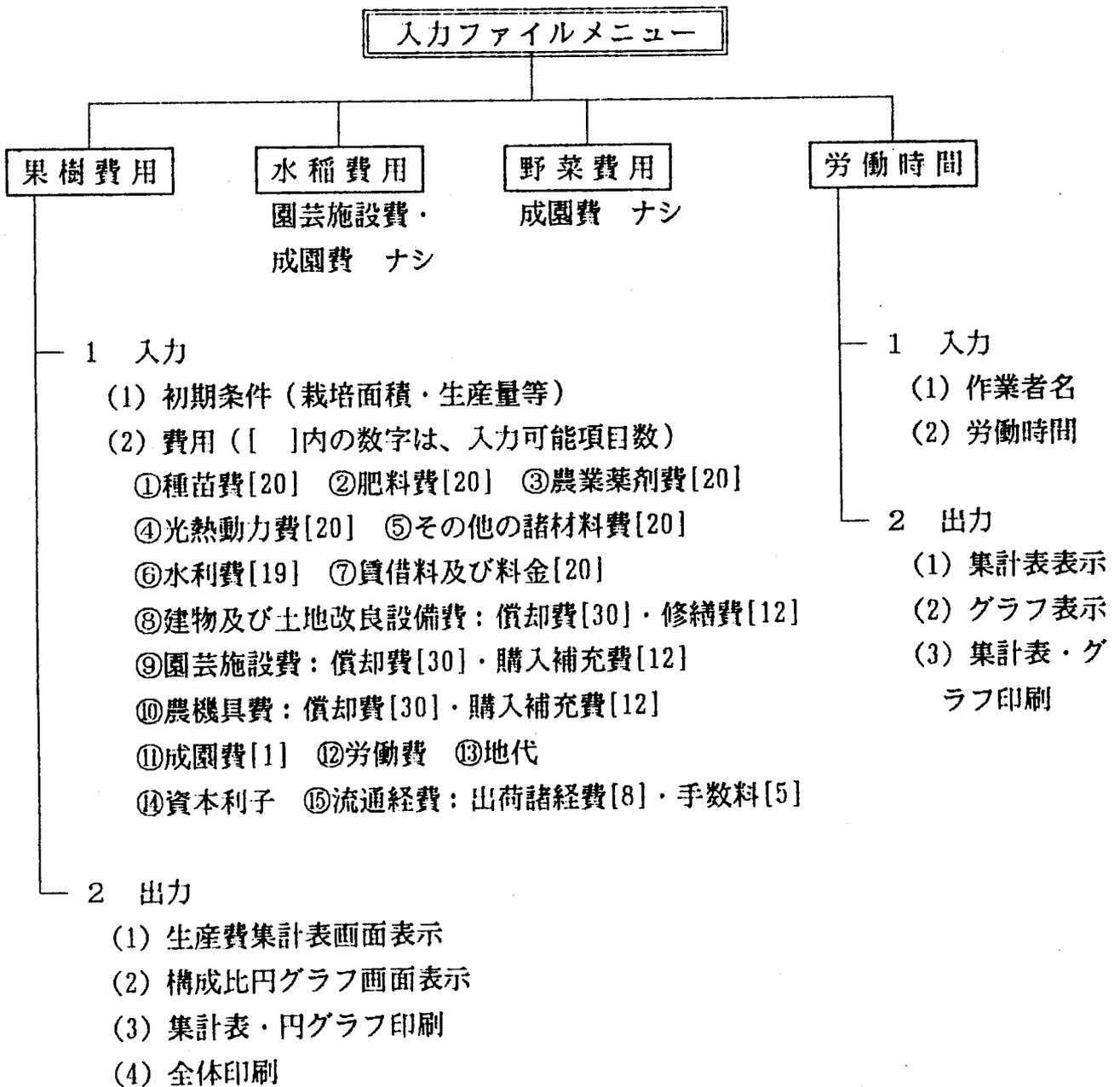


図 システムの構成